



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 NOK株式会社

コード番号 7240 URL <http://www.nok.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 鶴 正登

問合せ先責任者 (役職名) 企画部 部長

(氏名) 富永 利夫

TEL 03-3434-1736

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	372,483	△1.5	23,297	△20.4	25,467	△6.3	12,758	△0.3
23年3月期第3四半期	378,283	28.3	29,257	582.9	27,171	930.9	12,800	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,197百万円 (△83.3%) 23年3月期第3四半期 7,172百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	74.27	—
23年3月期第3四半期	74.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第3四半期	516,790		260,721		46.2
23年3月期	525,553		262,484		45.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 238,753百万円 23年3月期 241,112百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	494,300	△0.9	27,600	△21.4	30,300	△6.6	12,600	△24.5	73.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(その他)」に関する事項をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	173,138,537 株	23年3月期	173,138,537 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,190,825 株	23年3月期	1,482,218 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	171,772,470 株	23年3月期3Q	171,461,741 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 平成24年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定であります。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 追加情報 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの寸断から回復傾向にありましたが、欧州の金融不安や円高の影響等により、景気が減速しました。さらに10月に発生したタイの洪水被害による影響や、中国の金融引き締め施策による経済成長の鈍化等により、先行き不透明な状況が続いています。

自動車業界は、国内におきましては東日本大震災の復興需要の増大により、好調に推移しました。また海外におきましても新興国の需要が継続しており、全体としては、堅調に推移しました。

電子機器業界は、スマートフォンやタブレット型パソコンの需要増加に加えて、デジタルカメラ、ハードディスクドライブ等の電子機器の需要も好調に推移しました。

事務機業界は、震災による影響から回復傾向にありましたが、欧州経済の悪化と為替影響により複写機等の販売が減少し、低調に推移しました。

このような状況のもと、当社のセグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間よりハードディスクドライブ(HDD)用樹脂部品を主に生産しているプレジジョンコンポーネント事業部を、NOK株式会社から子会社である日本メクトロン株式会社に移管しております。これに伴い、従来のフレキシブル基板(FPC)事業というセグメント名称を電子機器部品事業という名称に変更し、従来シール事業であった当該事業に係る業績を、電子機器部品事業にセグメント区分を変更しております。前期との比較につきましては、変更後の区分に組み替えて行っております。

シール事業におきましては、東日本大震災からの復興需要により自動車向けの販売が増加したものの、欧州の金融危機による景気の悪化等により一般産業機器向けの販売が減少しました。特に中国における建設機械の需要は、中国政府の金融引き締めの影響もあり大幅に減少しました。その結果、売上高は1,935億9千4百万円（前年同期比0.4%の増収）となりました。営業利益は195億4千3百万円（前年同期比2.4%の増益）となりました。

電子機器部品事業におきましては、スマートフォン向けやタブレット型パソコン向け、およびデジタルカメラ向けの販売は好調であったものの、デジタルミュージックプレイヤー等の需要減少や急激な円高の影響を受けたため、売上は減少しました。その結果、売上高は1,463億6千7百万円（前年同期比2.3%の減収）となりました。営業利益は人件費等の固定費の増加、および為替影響等により、32億7千6百万円（前年同期比66.4%の減益）となりました。

ロール事業におきましては、第2四半期より複写機用の補修品の需要回復があったものの、欧州の経済悪化による需要の減退、および円高等の影響により、販売が減少しました。その結果、売上高は226億1千9百万円（前年同期比12.7%の減収）となりました。営業損失は2億4千8百万円（前年同期は3億2千6百万円の営業損失）となりました。

特殊潤滑剤等のその他事業は、東日本大震災からの自動車生産の回復等により、売上高は99億円（前年同期比1.5%の増収）となりました。営業利益は6億8千5百万円（前年同期比2.4%の増益）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,724億8千3百万円（前年同期比1.5%の減収）、営業利益は232億9千7百万円（前年同期比20.4%の減益）、経常利益は254億6千7百万円（前年同期比6.3%の減益）、四半期純利益は127億5千8百万円（前年同期比0.3%の減益）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、借入金返済に伴う現預金の減少等により、前期末比87億6千3百万円減の5,167億9千万円となりました。

負債は、長期借入金の返済等により、前期末比70億円減の2,560億6千9百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があったものの、株式市況の悪化に伴うその他有価証券評価差額金の減少等により、17億6千3百万円減の2,607億2千1百万円となり、自己資本比率は46.2%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、タイ国で発生しました洪水による影響や長引く円高、世界景気の減速感等、厳しい経営環境が続くと見込まれるため売上高、営業利益は前回予想値より下方修正しておりますが、経常利益はアジア通貨が対米ドルに対して若干持ち直したことによる為替差損の減少等の理由により前回予想値を上方修正しております。なお、当期純利益も税制改正に伴う繰延税金資産の一部取崩し等の理由により前回予想値を下方修正しております。

## 平成24年3月期通期連結業績予想値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	494,600	28,100	29,400	15,800	91.97
今回修正予想 (B)	494,300	27,600	30,300	12,600	73.35
増減額 (B-A)	△300	△500	900	△3,200	—
増減率 (%)	△0.1	△1.8	3.1	△20.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	498,932	35,134	32,426	16,685	97.29

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	86,703	67,171
受取手形及び売掛金	124,623	146,305
たな卸資産	53,223	57,278
その他	17,823	17,138
貸倒引当金	△948	△710
流動資産合計	281,426	287,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	66,465	61,436
機械装置及び運搬具(純額)	61,020	57,341
その他(純額)	29,641	30,935
有形固定資産合計	157,127	149,713
無形固定資産		
のれん	206	130
その他	1,108	1,074
無形固定資産合計	1,314	1,204
投資その他の資産		
投資有価証券	59,089	51,389
その他	26,816	27,561
貸倒引当金	△220	△263
投資その他の資産合計	85,685	78,688
固定資産合計	244,127	229,606
資産合計	525,553	516,790

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,552	54,405
短期借入金	46,659	52,659
未払法人税等	5,339	3,118
賞与引当金	8,522	4,680
事業構造改善引当金	346	—
災害損失引当金	1,463	620
その他	41,301	47,953
流動負債合計	154,185	163,436
固定負債		
長期借入金	58,885	43,656
退職給付引当金	45,496	44,532
その他	4,501	4,443
固定負債合計	108,883	92,632
負債合計	263,069	256,069
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	22,450	22,450
利益剰余金	206,956	217,138
自己株式	△1,845	△1,474
株主資本合計	250,897	261,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,228	10,268
為替換算調整勘定	△24,012	△32,965
その他の包括利益累計額合計	△9,784	△22,696
少数株主持分	21,371	21,968
純資産合計	262,484	260,721
負債純資産合計	525,553	516,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	378,283	372,483
売上原価	304,629	302,213
売上総利益	73,654	70,269
販売費及び一般管理費	44,396	46,972
営業利益	29,257	23,297
営業外収益		
受取配当金	578	659
持分法による投資利益	3,084	2,422
その他	1,848	2,619
営業外収益合計	5,511	5,701
営業外費用		
支払利息	2,546	2,054
為替差損	4,587	1,071
その他	463	405
営業外費用合計	7,597	3,531
経常利益	27,171	25,467
特別利益		
固定資産売却益	137	555
受取保険金	—	1,500
その他	125	71
特別利益合計	262	2,126
特別損失		
固定資産除却損	579	382
投資有価証券評価損	11	753
その他	274	60
特別損失合計	865	1,195
税金等調整前四半期純利益	26,569	26,398
法人税等	11,250	11,236
少数株主損益調整前四半期純利益	15,319	15,162
少数株主利益	2,518	2,404
四半期純利益	12,800	12,758



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,319	15,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,116	△3,941
為替換算調整勘定	△5,617	△8,621
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,412	△1,400
その他の包括利益合計	△8,147	△13,964
四半期包括利益	7,172	1,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,208	△154
少数株主に係る四半期包括利益	1,964	1,352

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.1%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.5%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.1%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は1,142百万円減少し、法人税等調整額は2,316百万円増加しております。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子機器部 品事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	204,723	137,907	25,901	9,750	378,283	—	378,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,242	2,105	—	529	7,877	(7,877)	—
計	209,965	140,013	25,901	10,280	386,161	(7,877)	378,283
セグメント利益又は 損失(△)	21,839	7,036	△326	669	29,218	39	29,257

(注) 1. セグメント利益の調整額 39百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子機器 部品事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	193,594	146,367	22,619	9,900	372,483	—	372,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,591	10	—	543	3,145	(3,145)	—
計	196,186	146,378	22,619	10,444	375,629	(3,145)	372,483
セグメント利益又は 損失(△)	19,543	3,276	△248	685	23,256	40	23,297

(注) 1. セグメント利益の調整額 40百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. P.2「連結経営成績に関する定性的情報」に記載の通り、当第1四半期連結会計期間よりハードディスクドライブ(HDD)用樹脂部品を主に生産しているプレジジョンコンポーネント事業部を、NOK株式会社から子会社である日本メクトロン株式会社に移管しております。これに伴い、従来のフレキシブル基板(FPC)事業というセグメント名称を電子機器部品事業という名称に変更し、従来シール事業であった当該事業に係る業績を、電子機器部品事業にセグメント区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分方法により区分すると次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	シール事業	電子機器 部品事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	192,778	149,853	25,901	9,750	378,283	—	378,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,284	—	—	529	2,814	(2,814)	—
計	195,063	149,853	25,901	10,280	381,098	(2,814)	378,283
セグメント利益又は 損失(△)	19,077	9,754	△326	669	29,174	83	29,257

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

タイにおける豪雨による洪水により、電子機器部品事業の生産拠点である、タイ中部アユタヤ県のバンパイン工業団地にある当社連結子会社メクテックマニュファクチャリングCorp. タイLtd. およびNOKプレジジョンコンポーネントタイLtd. の2社が浸水被害を受けました。

操業は順次再開をしておりますが、たな卸資産・有形固定資産等の除却及び建屋機械等修繕費用として約21億円の特別損失が発生する見込みです。

なお、両社とも損害に対する保険契約に加入しており、今後求償を行う予定ですが、現時点で保険収益額は未定です。